

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年3月17日(2023.3.17)

【国際公開番号】WO2022/224830

【出願番号】特願2022-568590(P2022-568590)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2 / 5 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 F 2 9 0 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 4 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 7 / 4 0 (2 0 1 8 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 F 2 / 5 0

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6

C 0 8 F 2 9 0 / 1 2

C 0 9 D 4 / 0 2

C 0 9 D 7 / 4 0

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年11月10日(2022.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

活性エネルギー線硬化型化合物、光重合開始剤、及び艶消し剤とを含有する活性エネルギー線硬化性組成物であって、(1)、(2)及び(3)を満たすことを特徴とする活性エネルギー線硬化性組成物。

30

(1) 活性エネルギー線硬化型化合物として、エチレンオキサイド変性1,6-ヘキサジオールジアクリレートを活性エネルギー線硬化型化合物全質量に対し10~50質量%、エチレンオキサイド変性トリメチロールプロパントリアクリレートを活性エネルギー線硬化型化合物全質量に対し10~50質量%含有する。

(2) 前記艶消し剤の粒子径が1~10 μ mであって、活性エネルギー線硬化型化合物全質量に対し前記艶消し剤を5~20質量%含有する。

(3) エトキシエトキシエタノールアクリル酸多量体エステルを活性エネルギー線硬化型化合物全質量に対し1~30質量%含有する。

【請求項2】

40

ジペンタエリスリトールヘキサクリレートを活性エネルギー線硬化型化合物全質量に対し1~20質量%含有する請求項1に記載の活性エネルギー線硬化性組成物。

【請求項3】

ウレタン(メタ)アクリレート、エポキシ(メタ)アクリレート、及びアクリル(メタ)アクリレートからなる群から選ばれる少なくとも1種の(メタ)アクリルオリゴマーを、活性エネルギー線硬化型化合物全質量に対し1~20質量%含有する請求項1又2に記載の活性エネルギー線硬化性組成物。

【請求項4】

基材上に、活性エネルギー線硬化性組成物のコーティング膜を形成する工程(I)と、前記コーティング膜上に、大気下で紫外線照射する工程(II)と、

50

前記コーティング膜上に、活性エネルギー線照射する工程（ I I I ）とを、この順に有することを特徴とする、艶消しコーティング膜の製造方法であって、活性エネルギー線硬化性組成物が、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の活性エネルギー線硬化性組成物であることを特徴とする、艶消しコーティング膜の製造方法。

10

20

30

40

50